

第 54 回鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告書

日時：2020 年 1 月 7 日（火） 午後 16 時 00 分から

場所：京都府立大学 稲森記念会館 会議室

講師：信濃卓郎 先生（北海道大学大学院農学研究院 教授）

「農業現場における放射能対策の現状と今後」

参加者：学部学生、大学院生、教員

参加者総数：21 名

信濃先生は、2011 年 3 月の福島原発事故以降、農研機構東北農研福島拠点センター長として福島の農耕地における放射能汚染対策の最前線に立ってこられた方で、放射性セシウムの土壌から作物への移行を抑制するための対策技術を確立するための様々な現場実証に携わってこられました。

本講演では、放射性セシウムの作物吸収を抑制するうえでのカリウム肥料追加施肥の重要性やカリウムがもたらす抑制効果の背景メカニズムについて解説いただくとともに、カリウム追加施肥の取りやめが進む現状を踏まえて、将来的に農地のカリウムレベルが低下した際の作物の安全性を確保するための迅速な評価手法の開発が急務であることをお話しいただきました。約 60 分のご発表の後は学生および教員から福島の現状や課題についての様々な質問が寄せられました。同セミナーは午後 17 時 20 分に終了し、その後も学生から活発な質問が信濃先生に向けられました。